



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月14日

上場会社名 遠州トラック株式会社
 コード番号 9057 URL <https://www.enshu-truck.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田 邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松尾 孝之
 定時株主総会開催予定日 2019年6月18日 配当支払開始予定日 2019年6月4日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月19日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0538-42-1111

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	28,414	12.6	1,597	12.3	1,568	13.0	990	15.3
2018年3月期	25,226	9.4	1,422	21.8	1,388	26.1	1,168	84.8

(注) 包括利益 2019年3月期 957百万円 (23.5%) 2018年3月期 1,252百万円 (77.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	営業収益営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	132.71		7.4	6.4	5.6
2018年3月期	156.65		9.5	5.9	5.6

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	25,072	13,687	54.6	1,834.60
2018年3月期	23,861	12,909	54.1	1,730.25

(参考) 自己資本 2019年3月期 13,687百万円 2018年3月期 12,909百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	2,241	916	518	2,826
2018年3月期	1,654	111	883	2,020

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		10.00		10.00	20.00	149	12.8	1.2
2019年3月期		14.00		14.00	28.00	208	21.1	1.6
2020年3月期(予想)		19.00		19.00	38.00		22.7	

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,500	15.9	950	41.8	950	43.4	610	7.2	81.76
通期	31,500	10.9	1,950	22.1	1,930	23.1	1,250	26.2	167.54

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	7,546,000 株	2018年3月期	7,546,000 株
期末自己株式数	2019年3月期	85,106 株	2018年3月期	85,086 株
期中平均株式数	2019年3月期	7,460,911 株	2018年3月期	7,460,916 株

(参考)個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	25,283	13.8	1,394	11.5	1,361	13.0	854	18.4
2018年3月期	22,223	10.6	1,251	23.7	1,204	31.7	1,047	105.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	114.57	
2018年3月期	140.46	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2019年3月期	23,182		12,242		52.8	1,640.85		
2018年3月期	22,205		11,582		52.2	1,552.48		

(参考) 自己資本 2019年3月期 12,242百万円 2018年3月期 11,582百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,940	18.2	810	39.4	800	39.9	520	2.1	69.70
通期	28,400	12.3	1,660	19.0	1,640	20.5	1,070	25.2	143.41

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(表示方法の変更)	12
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. 個別財務諸表	15
(1) 貸借対照表	15
(2) 損益計算書	17
(3) 株主資本等変動計算書	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかに成長が持続したと言われる一方、力強さに欠け、成長が実感できない展開となりました。物流業界におきましては、消費関連貨物や生活関連貨物は堅調に推移したものの、国内貨物の総輸送量はマイナスに転じております。

このような状況の下、当社グループにおきましては、新たにインターネット通販の宅配業務に参入したこと、従来からのインターネット通販向けの物流拠点間輸送も増加したこと、また、夏場に家電品や日用品・衛生用品等生活関連貨物の取り扱いが好調であったことから、当連結会計年度の営業収益（売上高）は284億14百万円（前期比12.6%増）となりました。

利益面におきましては、燃料費の高騰は一段落したものの、主に輸送部門において、労働需給の逼迫により外注費が上昇したこと、および労働力不足を補うための環境改善に投資したこと等から、営業利益は15億97百万円（前期比12.3%増）、経常利益は15億68百万円（前期比13.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、連結子会社の清算に伴う税負担の減少がなくなり、9億90百万円（前期比15.3%減）となりました。

セグメント別の営業収益の状況は次のとおりであります。

物流事業の営業収益は282億65百万円（前期比12.9%増）となりました。その内訳は、輸送部門が200億81百万円（前期比17.3%増）、倉庫部門が81億84百万円（前期比3.3%増）となりました。

その他（不動産事業等）は1億48百万円（前期比22.3%減）となりました

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は72億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億15百万円増加しました。これは主に現金及び預金が8億6百万円、受取手形及び営業未収入金が1億56百万円増加したことによるものであります。固定資産は177億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円増加しました。これは主に、無形固定資産が76百万円減少したものの、有形固定資産が99百万円、投資その他の資産が71百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、250億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億10百万円増加しました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は58億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億93百万円減少しました。これは主に営業未払金及び支払手形が2億41百万円、未払法人税等が4億円増加したものの、短期借入金が15億7百万円減少したことによるものであります。固定負債は55億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億25百万円増加しました。これは主に長期借入金が12億46百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、113億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億32百万円増加しました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は136億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億78百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する当期純利益9億90百万円及び剰余金の配当1億79百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は54.6%（前連結会計年度末は54.1%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は28億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億6百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は22億41百万円（前年同期比5億87百万円増）となりました。これは主に売上債権の増加額2億50百万円、法人税等の支払額2億8百万円による支出に対し、税金等調整前当期純利益15億61百万円、減価償却費6億42百万円、減損損失1億90百万円、仕入債務の増加額2億41百万円による収入があったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は9億16百万円（前年同期比8億4百万円増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出8億89百万円があったことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は5億18百万円（前年同期比3億65百万円減）となりました。これは主に長期借入れによる収入26億7百万円に対し、長期借入金の返済支出28億8百万円、配当金の支払額1億79百万円があったことなどによるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率（％）	46.4	47.8	50.5	54.1	54.6
時価ベースの自己資本比率（％）	26.3	25.7	39.7	44.9	34.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	5.8	6.5	6.4	4.2	3.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	16.3	14.8	16.5	28.5	44.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注）1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

物流業界では、上期の国内貨物輸送量は、消費増税前の駆け込み需要の発生により、いくぶん盛り上がるものの、下期には減少に転じると予想されております。また、燃料価格の上昇は一段落したものの、労働力不足は深刻であり、先行きは不透明さを増しております。

このような中、当社グループにおきましては、最終年度を迎えた中期経営計画（2017年4月～2020年3月）を着実に実行し、外部環境の変化に左右されない企業体質を構築するとともに「顧客満足度No.1」企業の実現を引き続き目指してまいります。

連結業績の予想は以下のとおりです。

また、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

営業収益	31,500百万円	(前年同期比	10.9%増)
営業利益	1,950百万円	(前年同期比	22.1%増)
経常利益	1,930百万円	(前年同期比	23.1%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,250百万円	(前年同期比	26.2%増)

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,020	2,826
受取手形及び営業未収入金	3,860	4,016
電子記録債権	64	159
販売用不動産	35	32
仕掛販売用不動産	—	19
貯蔵品	19	18
その他	189	218
貸倒引当金	△29	△15
流動資産合計	6,160	7,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,556	11,615
減価償却累計額	△8,042	△8,322
建物及び構築物 (純額)	3,513	3,293
機械装置及び運搬具	2,167	2,020
減価償却累計額	△1,950	△1,832
機械装置及び運搬具 (純額)	217	187
土地	11,191	11,086
リース資産	338	338
減価償却累計額	△73	△100
リース資産 (純額)	264	237
建設仮勘定	—	467
その他	457	494
減価償却累計額	△350	△373
その他 (純額)	107	121
有形固定資産合計	15,294	15,393
無形固定資産	310	234
投資その他の資産		
投資有価証券	712	668
繰延税金資産	134	184
その他	1,286	1,353
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	2,095	2,167
固定資産合計	17,701	17,795
資産合計	23,861	25,072

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,390	2,631
短期借入金	3,268	1,760
未払法人税等	110	511
賞与引当金	137	176
その他	761	794
流動負債合計	6,668	5,874
固定負債		
長期借入金	3,415	4,661
リース債務	163	118
退職給付に係る負債	463	494
その他	241	235
固定負債合計	4,283	5,509
負債合計	10,952	11,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,284	1,284
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	10,333	11,144
自己株式	△59	△59
株主資本合計	12,644	13,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	259	234
退職給付に係る調整累計額	5	△1
その他の包括利益累計額合計	264	232
純資産合計	12,909	13,687
負債純資産合計	23,861	25,072

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業収益	25,226	28,414
営業原価	23,026	26,044
営業総利益	2,200	2,369
販売費及び一般管理費	778	772
営業利益	1,422	1,597
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	12	13
受取保険金	13	0
保険解約返戻金	6	—
保険配当金	—	8
その他	29	16
営業外収益合計	61	38
営業外費用		
支払利息	60	50
保険解約損	23	—
その他	11	17
営業外費用合計	95	68
経常利益	1,388	1,568
特別利益		
固定資産売却益	13	16
固定資産受贈益	28	—
投資有価証券売却益	—	14
違約金収入	—	165
特別利益合計	41	196
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	1	11
減損損失	—	190
特別損失合計	2	202
税金等調整前当期純利益	1,427	1,561
法人税、住民税及び事業税	268	605
法人税等調整額	△10	△34
法人税等合計	258	571
当期純利益	1,168	990
親会社株主に帰属する当期純利益	1,168	990

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	1,168	990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69	△25
繰延ヘッジ損益	16	—
退職給付に係る調整額	△2	△7
その他の包括利益合計	83	△32
包括利益	1,252	957
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,252	957

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,284	1,086	9,298	△59	11,610
当期変動額					
剰余金の配当			△134		△134
親会社株主に帰属する当期純利益			1,168		1,168
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,034	△0	1,034
当期末残高	1,284	1,086	10,333	△59	12,644

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	189	△16	8	181	11,791
当期変動額					
剰余金の配当					△134
親会社株主に帰属する当期純利益					1,168
自己株式の取得					△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	69	16	△2	83	83
当期変動額合計	69	16	△2	83	1,118
当期末残高	259	—	5	264	12,909

当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,284	1,086	10,333	△59	12,644
当期変動額					
剰余金の配当			△179		△179
親会社株主に帰属する当期純利益			990		990
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	811	△0	811
当期末残高	1,284	1,086	11,144	△59	13,455

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	259	5	264	12,909
当期変動額				
剰余金の配当				△179
親会社株主に帰属する当期純利益				990
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△25	△7	△32	△32
当期変動額合計	△25	△7	△32	778
当期末残高	234	△1	232	13,687

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,427	1,561
減価償却費	647	642
減損損失	—	190
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	△13
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	28	20
受取利息及び受取配当金	△12	△13
支払利息	60	50
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△14
固定資産受贈益	△28	—
有形固定資産除却損	1	10
有形固定資産売却損益 (△は益)	△11	△16
無形固定資産除却損	—	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△286	△250
たな卸資産の増減額 (△は増加)	6	△16
仕入債務の増減額 (△は減少)	279	241
未払消費税等の増減額 (△は減少)	57	10
その他	△72	82
小計	2,091	2,487
利息及び配当金の受取額	12	13
利息の支払額	△58	△50
法人税等の支払額	△391	△208
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,654	2,241
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△236	△889
有形固定資産の売却による収入	14	43
無形固定資産の取得による支出	△20	△32
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
保険積立金の解約による収入	109	—
その他	26	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111	△916
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	60	△60
長期借入れによる収入	350	2,607
長期借入金の返済による支出	△986	△2,808
社債の償還による支出	△100	—
配当金の支払額	△134	△179
その他	△72	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	△883	△518
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	658	806
現金及び現金同等物の期首残高	1,361	2,020
現金及び現金同等物の期末残高	2,020	2,826

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日。以下「税効果会計基準一部改正」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」63百万円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」134百万円に含めて表示しております。

なお、同一納税主体の繰延税金資産と繰延税金負債を相殺して表示しており、変更前と比べて総資産が2百万円減少しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、輸送・倉庫を中心とした「物流事業」のほか「不動産事業等」を展開しサービスを提供しております。また、実際のサービスは、各営業所・子会社を通じて提供しておりますが、同一のサービスを提供する営業所・子会社の経済的特徴は概ね類似しております。したがって、当社は各営業所・子会社を集約して、「物流事業」を報告セグメントとしております。

「物流事業」は、一般貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業及び倉庫事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	物流事業				
営業収益					
外部顧客への営業収益	25,035	191	25,226	—	25,226
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	25,035	191	25,226	—	25,226
セグメント利益	1,982	116	2,099	△676	1,422
セグメント資産	17,968	2,546	20,515	3,346	23,861
その他の項目					
減価償却費	618	16	634	12	647
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	252	—	252	54	307

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△676百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△676百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額3,346百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。なお、全社資産は、主に提出会社における現金、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額12百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産の償却費等であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額54百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産への設備投資額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	物流事業				
営業収益					
外部顧客への営業収益	28,265	148	28,414	—	28,414
セグメント間の内部営業収益又は振替高	—	—	—	—	—
計	28,265	148	28,414	—	28,414
セグメント利益	2,199	68	2,268	△670	1,597
セグメント資産	18,766	2,405	21,172	3,900	25,072
その他の項目					
減価償却費	604	15	620	22	642
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	873	1	874	13	887

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△670百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△670百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額3,900百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産が含まれております。なお、全社資産は、主に提出会社における現金、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額22百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産の償却費等であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額13百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社資産への設備投資額であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	1,730.25円	1,834.60円
1株当たり当期純利益金額	156.65円	132.71円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	1,168	990
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額 (百万円)	1,168	990
期中平均株式数 (株)	7,460,916	7,460,911

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,192	1,769
受取手形	360	258
電子記録債権	64	108
営業未収入金	3,093	3,381
リース投資資産	—	3
販売用不動産	35	32
仕掛販売用不動産	—	19
貯蔵品	18	17
前払費用	171	178
その他	7	19
貸倒引当金	△29	△15
流動資産合計	4,914	5,774
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,107	2,897
構築物	144	154
機械及び装置	46	20
車両運搬具	81	90
工具、器具及び備品	98	111
土地	11,055	10,950
リース資産	264	237
建設仮勘定	—	467
有形固定資産合計	14,797	14,929
無形固定資産		
借地権	114	114
電話加入権	23	23
ソフトウェア	160	73
ソフトウェア仮勘定	5	15
施設利用権	1	1
無形固定資産合計	304	228
投資その他の資産		
投資有価証券	672	641
関係会社株式	164	164
出資金	4	4
長期貸付金	—	2
繰延税金資産	114	152
リース投資資産	—	13
敷金及び保証金	933	967
保険積立金	215	227
その他	121	113
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	2,188	2,249
固定資産合計	17,291	17,407
資産合計	22,205	23,182

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	89	89
営業未払金	2,070	2,317
短期借入金	460	400
1年内返済予定の長期借入金	2,908	1,360
リース債務	55	61
未払金	77	110
未払費用	241	280
未払法人税等	76	466
未払消費税等	131	151
預り金	23	23
賞与引当金	117	150
設備関係支払手形	74	19
その他	62	60
流動負債合計	6,388	5,493
固定負債		
長期借入金	3,415	4,661
リース債務	163	118
長期未払金	95	72
退職給付引当金	416	434
長期預り保証金	143	159
固定負債合計	4,234	5,446
負債合計	10,622	10,939
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,284	1,284
資本剰余金		
資本準備金	1,070	1,070
その他資本剰余金	15	15
資本剰余金合計	1,086	1,086
利益剰余金		
利益準備金	90	90
その他利益剰余金		
特別償却準備金	95	72
別途積立金	6,298	6,298
繰越利益剰余金	2,541	3,240
利益剰余金合計	9,026	9,702
自己株式	△59	△59
株主資本合計	11,337	12,013
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	245	228
評価・換算差額等合計	245	228
純資産合計	11,582	12,242
負債純資産合計	22,205	23,182

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業収益		
運送収入	14,579	17,390
倉庫収入	7,406	7,697
不動産収入	198	156
その他	39	38
営業収益合計	22,223	25,283
営業原価	20,295	23,217
営業総利益	1,927	2,065
販売費及び一般管理費	676	670
営業利益	1,251	1,394
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	12	12
受取保険金	13	0
保険配当金	—	8
その他	25	13
営業外収益合計	51	35
営業外費用		
支払利息	61	50
保険解約損	23	—
その他	13	17
営業外費用合計	98	68
経常利益	1,204	1,361
特別利益		
固定資産売却益	10	13
固定資産受贈益	28	—
投資有価証券売却益	—	14
違約金収入	—	165
特別利益合計	38	192
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	0	11
減損損失	—	190
特別損失合計	2	202
税引前当期純利益	1,240	1,351
法人税、住民税及び事業税	200	526
法人税等調整額	△7	△30
法人税等合計	192	496
当期純利益	1,047	854

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本										
	資本金	資本剰余金			利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計	自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		特別償却準備金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	1,284	1,070	15	1,086	90	119	6,298	1,603	8,113	△59	10,424
当期変動額											
剰余金の配当								△134	△134		△134
当期純利益								1,047	1,047		1,047
特別償却準備金の取崩						△23		23	—		—
自己株式の取得										△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)											
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△23	—	937	913	△0	913
当期末残高	1,284	1,070	15	1,086	90	95	6,298	2,541	9,026	△59	11,337

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	185	△16	168	10,593
当期変動額				
剰余金の配当				△134
当期純利益				1,047
特別償却準備金の取崩				—
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	59	16	76	76
当期変動額合計	59	16	76	989
当期末残高	245	—	245	11,582

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本										
	資本金	資本剰余金			利益剰余金					自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計		
						特別償却準備金	別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	1,284	1,070	15	1,086	90	95	6,298	2,541	9,026	△59	11,337
当期変動額											
剰余金の配当								△179	△179		△179
当期純利益								854	854		854
特別償却準備金の取崩						△23		23	—		—
自己株式の取得										△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)											
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△23	—	699	675	△0	675
当期末残高	1,284	1,070	15	1,086	90	72	6,298	3,240	9,702	△59	12,013

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	245	245	11,582
当期変動額			
剰余金の配当			△179
当期純利益			854
特別償却準備金の取崩			—
自己株式の取得			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△16	△16	△16
当期変動額合計	△16	△16	659
当期末残高	228	228	12,242